



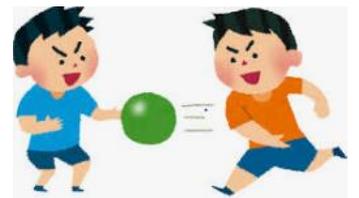
みなみせや

副校長 小嶋一喜

元気な子どもたちの姿が戻ってきました

10月1日によりやく緊急事態宣言が解除され、4日（月）から全校児童が一斉に登校してきました。分散登校だったので、「夏休み以降2か月半ぶりに会った。」とうれしそうに話をしてくれた子どもがいました。休み時間には、校庭を一緒に走って遊ぶ低学年の子どもたちの姿が見られました。この日から一輪車、竹馬が解禁となり、競うように一輪車に乗り楽しんでいる子どもたちが見られました。

10月11日から後期が始まりました。先週まで使えなかったボールも解禁となり、高学年も校庭で、マスクを着用してドッジボールやバスケットボールをして遊ぶ姿も見られるようになりました。真夏日に迫る気温でしたが、子どもたちは汗びっしょりになりながら、友達や先生と夢中になって遊んでいました。夏休み前よりも多くの子どもたちであふれた校庭は、活気にあふれた小学校ならではの光景で、とても印象的でした。



教室の中は、引き続き間隔を開けて一人ひとりの座席を設置しているので、高学年になるほど教室いっぱいになっています。その中で、課題に対して黙々と取り組む姿が多く見られています。2年生のあるクラスでは、新しい漢字ドリルをもらって、早速練習に取り組んでいました。

給食は、黙食をしています。静かに食している姿が定着しています。12時45分に栄養教諭の鎌田先生が「パクパクだより」を読んで、今日の給食にかかわる食材について、今の時期の旬についてなどを子どもたちに紹介しています。静かに話を聞き、食に関心をもつことができていることは、黙食中の効果だと思います。早く、友達と会話をしながら楽しく食することを期待しつつも、黙食の良さも継続していきたいと思いました。

10月下旬から急に寒さが増してきました。11月下旬になるとさらに寒さが増してきます。体調に十分気をつけ、元気な子どもたちの姿が学校生活の中であふれるように、今後も、感染対策を十分講じながら、子どもたちの様子を見守っていきたいと思います。